

証券アナリストジャーナル

第 58 卷 総目次 (2020年分)

公益社団法人 日本証券アナリスト協会

| | | |
|-------------------------------|---------|--------|
| 新年にあたって | 新 芝 宏 之 | 第1号 2頁 |
| 新型コロナウイルス感染症と企業開示に関する声明などについて | | 第7号 2頁 |

特 集

個人投資家の資産形成行動とその背景

| | | |
|---------------------------|-------------------------------|---------|
| 解題 | 本 多 俊 毅 | 第1号 4頁 |
| 老後生活の設計と公的年金の役割 | 高 山 憲 之 | 第1号 8頁 |
| 家計の資産形成行動に居住用不動産が及ぼす影響 | 祝 迫 得 夫、小 野 有 人 | 第1号 17頁 |
| 個人投資家の金融知識と資産形成 | 藤 木 裕 | 第1号 30頁 |
| フィンマックの活動と紛争事例等について | 三 森 肇 | 第1号 40頁 |
| <第34回日本証券アナリスト大会より> | | |
| (パネルディスカッション) | | |
| 五輪後の新時代に求められるROESGによる価値創造 | 内 誠一郎、スコット・キャロン、山 名 昌 衛、柳 良 平 | 第1号 48頁 |

グリーンボンド等SDGs投資を考える

| | | |
|--|-------------------------|---------|
| 解題 | 徳 島 勝 幸 | 第2号 2頁 |
| 世界的に見たグリーンボンド等SDGs債の発行状況と投資の意味合い | 江 夏 あかね | 第2号 6頁 |
| SDGs債の価格形成に関する分析と投資に際しての留意点 | | |
| —世界銀行のSDGs債とEnel社のGeneral Purpose SDGs Linked Bondの事例分析— | 伊 藤 晴 祥 | 第2号 16頁 |
| サステナブルファイナンスと外部評価 | 相 原 和 之 | 第2号 29頁 |
| GPIFと世界銀行グループによる研究と投資のパートナーシップ | 大 石 哲 也、西 田 大 城、八 木 美 菜 | 第2号 39頁 |

経営者報酬を考える

| | | |
|--------------------------------|-------------------------|---------|
| 解題 | 小宮山 賢 | 第3号 2頁 |
| 業績連動報酬制度の概要 | 柴 田 寛 子 | 第3号 6頁 |
| 業績連動報酬制度の会計 | 波多野 直 子 | 第3号 17頁 |
| 利用者から見た2019年有価証券報告書「役員報酬開示」の改革 | 三 井 千 絵 | 第3号 30頁 |
| (座談会) | | |
| 機関投資家から見た経営者報酬 | 銭 谷 美 幸、三 橋 和 之、神 山 直 樹 | 第3号 40頁 |

人口減少・高齢化社会と金融市場

| | | |
|--------------------------------|-----------|---------|
| 解題 | 高 田 創 | 第4号 2頁 |
| 少子高齢化社会の人生設計と金融サービスの在り方再考 | 北 村 行 伸 | 第4号 6頁 |
| 人口減少社会・高齢化と地域間の資金フロー | 福 田 慎 一 | 第4号 16頁 |
| 人口減少・高齢化社会の金融環境と年金その他の金融仲介の在り方 | 玉 木 伸 介 | 第4号 28頁 |
| 人口と不動産投資 | 川 口 有 一 郎 | 第4号 38頁 |

金融のデジタル化とデータサイエンス

| | | |
|---------------------------------|-----------------------|---------|
| 解題 | 大 庭 昭 彦 | 第5号 2頁 |
| 金融デジタル化の進展に伴う制度整備 | 中 島 淳 一 | 第5号 6頁 |
| データ主導による非金融との境界領域をめぐる動向 | 桑 津 浩 太 郎 | 第5号 15頁 |
| ビッグデータ分析の金融実務への実装 | | |
| —予測と因果推論を用いた実務課題の解決— | 宮 川 大 介 | 第5号 22頁 |
| プレミアム品購買データから読み解く消費者心理 | | |
| —民間データとデータサイエンスが拓く、新しい投資・経済の視点— | 伊 藤 健、田 代 大 悟、饗 場 行 洋 | 第5号 32頁 |

グローバル流動性と資本市場

| | | |
|--------------------------|-----------|---------|
| 解題 | 大 野 早 苗 | 第6号 2頁 |
| 主要各国の非伝統的金融政策について | | |
| —ニューノーマルの状況下の標準的な政策運営か?— | 地 主 敏 樹 | 第6号 6頁 |
| 過剰流動性と債券市場 | 森 田 長 太 郎 | 第6号 17頁 |

| | | |
|---------------------------------------|---------------------|----------|
| 異次元緩和とJ-REIT市場 | 伊藤隆康 | 第6号 30頁 |
| ASEAN諸国に向かう資本フローの動向と影響 | 清水聡 | 第6号 39頁 |
| 8年目を迎えた異次元緩和の論点整理 | | |
| 解題 | 内田稔 | 第7号 7頁 |
| QQE 7年間の総括—リフレ政策はなぜ正しいか— | 原田泰 | 第7号 11頁 |
| 長期化するQQEの問題点と課題 | 加藤出 | 第7号 20頁 |
| マイナス金利後の邦銀の利鞘—低下の元凶は本当にマイナス金利なのか?— | 大槻奈那 | 第7号 31頁 |
| 日銀によるETF買入れがリスクプレミアムに与えた影響 | | |
| —期待倒産確率調整後インプライド自己資本コストを用いた分析— | 井出真吾、竹原均 | 第7号 42頁 |
| 資産運用業界を変革するために何をなすべきか—第11回SAAJ国際セミナー— | | |
| 開会挨拶 | 新芝宏之 | 第8号 2頁 |
| 解題 | 光定洋介 | 第8号 5頁 |
| (特別寄稿) | | |
| 資産運用業の高度化に向けて | 遠藤俊英 | 第8号 9頁 |
| (対談) | | |
| 資産運用業における顧客重視の文化 | デイビッド・A・ハント、前原康宏 | 第8号 16頁 |
| (寄稿) | | |
| 本邦資産運用業界発展の方向性 | 菅野暁 | 第8号 29頁 |
| (座談会) | | |
| “投資信託”による資産運用拡大に向けて担う役割—アドバイス、運用、販売— | 中桐啓貴、中野晴啓、水野清司、島田知保 | 第8号 40頁 |
| 財務報告と経営の時間軸 | | |
| 解題 | 中野誠 | 第9号 2頁 |
| 経営の時間軸の変化と新たな証券アナリストの役割 | 松島憲之 | 第9号 6頁 |
| 財務報告頻度の経済的影響—四半期財務報告の政策評価の視点から— | 藤谷涼佑 | 第9号 15頁 |
| 制度開示における中期経営計画開示の実態と課題 | 中條祐介 | 第9号 25頁 |
| 統合報告の導入が利益情報開示に及ぼす影響 | 調勇二 | 第9号 34頁 |
| 不正会計 | | |
| 解題 | 石川博行 | 第10号 2頁 |
| 不正会計の実態分析 | 一ノ宮士郎 | 第10号 6頁 |
| 不正会計開示後の企業対応と株価形成 | 尾関規正 | 第10号 19頁 |
| 不正会計と監査—主要な不正事例への監査の対応— | 吉見宏 | 第10号 32頁 |
| 会計学研究における不正会計予測モデルの展開 | 首藤昭信 | 第10号 42頁 |
| 脱株主第一主義の行方 | | |
| 解題 | 光定洋介 | 第11号 3頁 |
| 株主第一主義の意義と合理性—法学の視点から— | 田中亘 | 第11号 7頁 |
| 株主第一主義か、ステークホルダー主義か | | |
| —世界の経済・社会・企業の観察から— | 広田真一 | 第11号 18頁 |
| 株主が主導するステークホルダー主義への転換 | | |
| —米国における脱株主第一主義の動き— | 雨宮愛知 | 第11号 30頁 |
| 国際比較から考える日本企業のコーポレートガバナンスの現在地 | 齋藤卓爾 | 第11号 41頁 |
| LIBOR廃止とその課題 | | |
| 解題 | 西出勝正 | 第12号 2頁 |
| 望ましい金利指標とは?—LIBORスキャンダルを踏まえて— | 齊藤誠 | 第12号 6頁 |
| LIBOR廃止後の金利デリバティブと金利環境 | | |
| —マルチカーブ環境に関する理論的な視点から— | 田中隆司、室町幸雄 | 第12号 16頁 |
| リスク・フリー・レートへの移行に係るリスク管理上の幾つかの課題 | 安達哲也 | 第12号 27頁 |
| 金利指標改革の進捗と残された課題—米国等の海外動向を踏まえた考察— | 磯部昌吾 | 第12号 38頁 |

<第35回日本証券アナリスト大会>

「自然の脅威に立ち向かう企業とアナリストの役割」

| | | |
|-----------------------|---------|----------|
| 開会の辞 | 新 芝 宏 之 | 第11号 54頁 |
| 証券アナリストジャーナル賞表彰 | 川 北 英 隆 | 第11号 57頁 |
| ディスクロージャー優良企業表彰 | 許 斐 潤 | 第11号 60頁 |
| (記念講演) | | |
| I 世界の構造変化と日本—コロナを越えて— | 寺 島 実 郎 | 第12号 48頁 |
| II ESG経営に大きく舵を切る | 澤 田 道 隆 | 第12号 56頁 |
| (所感) | | |
| 第35回日本証券アナリスト大会を終えて | 村 松 高 明 | 第12号 63頁 |

＊＊特 別 掲 載＊＊

| | | |
|--|--|-----------|
| 「資本コストと企業価値向上」に関するアンケート調査結果（2020年3月実施） | | 第 8 号 84頁 |
|--|--|-----------|

＊＊展 望＊＊

| | | |
|------------------------------------|---------|-----------|
| 森を見て木を見ず—ETF買入政策の影響— | 原 田 喜美枝 | 第 1 号 60頁 |
| 漂流する中央銀行—壊れた羅針盤と政治の荒波— | 沼 波 正 | 第 2 号 49頁 |
| 株式リターンの歪度と長期的な資産形成 | 本 多 俊 毅 | 第 3 号 53頁 |
| ESG投資とパフォーマンス評価 | 加 藤 康 之 | 第 4 号 47頁 |
| 個人投資家の個票情報活用と実証分析について | 白 須 洋 子 | 第 5 号 42頁 |
| 年金運用の目標とインデックスの在り方 | 徳 島 勝 幸 | 第 6 号 52頁 |
| 新潮流としての人的資源会計 | 中 野 誠 | 第 7 号 52頁 |
| ネットワークモデルとデータサイエンスの未来 | 大 庭 昭 彦 | 第 8 号 51頁 |
| サステナブル成長率を考える | 石 川 博 行 | 第 9 号 45頁 |
| 新型コロナウイルスに対する金融市場の反応 | 西 出 勝 正 | 第10号 53頁 |
| コーポレートファイナンス×サステナビリティ=みずほ銀行企業戦略開発部 | 佐 藤 勝 | 第11号 61頁 |
| 企業はESGに何を期待しているか？ | 佐々木 隆 文 | 第12号 65頁 |

＊＊経済・産業・実務シリーズ＊＊

| | | |
|---|-----------|-----------|
| 日本経済・物価の現状と今後の展望 | 関 根 敏 隆 | 第 1 号 66頁 |
| AIの技術的特徴・有効性と限界 | 山 田 誠 二 | 第 2 号 55頁 |
| アナリストを取り巻くコンプライアンス | | |
| —フェア・ディスクロージャー・ルールの導入後— | 川 村 紹 子 | 第 3 号 59頁 |
| 激化する米中“対立”の行方 | | |
| —ゼーリック講演「米中は共にステークホルダーとして協力していけるか」を読む— | 旭 英 昭 | 第 4 号 52頁 |
| 証券化とリスク・リテンション規制をめぐって | 高 橋 正 彦 | 第 5 号 47頁 |
| 最近の中東情勢とエネルギー問題の相関 | 田 中 浩 一 郎 | 第 6 号 57頁 |
| 平均値を超えたところにあるもの | | |
| —ターゲットデット戦略における頑健なグライドパスの設計手法— | 瀧 川 一 | 第 7 号 57頁 |
| Lorie Latham、Zachary Rayfield、Kathryn Farrell、Jim Tzitzouris、 | | |
| バランスシート問題からバブル崩壊とコロナショックを考える | | |
| —バランスシート調整において重要な国債の役割— | 高 田 創 | 第 8 号 57頁 |
| 新年度のクレジット市場を考える—コロナショックと投資選別— | 中 空 麻 奈 | 第 9 号 51頁 |
| 財務情報の変動リスクに関する開示の拡充 | | |
| —KAMの早期適用の状況及び関連する会計基準の改正動向— | 大 瀧 晃 栄 | 第10号 58頁 |
| ポストコロナ危機の世界経済と日本企業のグローバル戦略の在り方 | 柯 隆 | 第11号 69頁 |
| 日本企業の独立取締役の役割—米国企業との比較— | 江 川 雅 子 | 第12号 71頁 |

＊＊視 点＊＊

| | | | |
|------------------------------------|---------|------|-----|
| アナリストにこだわり続けて—現場主義でファクトを追求— | 伊藤 敏 憲 | 第1号 | 77頁 |
| コーポレートガバナンス改革で変わる企業と株式市場 | 海津 政 信 | 第2号 | 63頁 |
| 令和時代のアナリストのキャリアを考える | 若林 秀 樹 | 第3号 | 67頁 |
| 米中時代の衰退大国・日本？ | 渥美 恭 弘 | 第4号 | 64頁 |
| 社会に貢献する金融仲介 | 神津 多可思 | 第5号 | 59頁 |
| 国民の資産形成と投資信託の課題 | 杉江 潤 | 第6号 | 69頁 |
| 米国大統領選を前に思うこと | 杉浦 康 之 | 第7号 | 68頁 |
| 毎月配当株式ポートフォリオ | 宮野谷 篤 | 第8号 | 68頁 |
| チャタムハウス | 伏見 泰 治 | 第9号 | 61頁 |
| コロナの「ファクターX」は日本人の悲観主義!?—楽観主義者のぼやき— | 渥美 恭 弘 | 第10号 | 67頁 |
| 日銀保有ETFの行方は | 柳田 誠 希 | 第11号 | 76頁 |
| 転機を迎えるグローバリズム | 藤 森 克 己 | 第12号 | 82頁 |

＊＊論 文＊＊

| | | | |
|---|----------------|------|-----|
| 商標権情報が株式価値に与える影響 —長期パネルデータを用いた分析— | 井出 真 吾、竹原 均 | 第1号 | 81頁 |
| 業績予想の正確度と社債スプレッド | 石田 惣 平 | 第1号 | 91頁 |
| Piotroski [2000] のFスコアと将来リターンの関係 —経年変化の分析を中心に— | 北川 教 央 | 第2号 | 67頁 |
| 「横滑り」社外取締役の特徴と考察 —自社の社外監査役を社外取締役として選任する要因は何か— | 杉浦 康 之 | 第3号 | 71頁 |
| カスタマーモメンタムと株式リターンの実証研究 吉野 貴 晶、森田 充、津田 博 史、大平 貴 之 | | 第5号 | 63頁 |
| 日本における投資信託の資金フローと市場構造 | 阿 萬 弘 行、高橋 陽 二 | 第5号 | 76頁 |
| 日本市場の注目業種クラスターとモーメンタム効果 —ホットスポットマイニングによる網羅的探索— | 岡田 克 彦、羽室 行 信 | 第7号 | 72頁 |
| ペイアウト政策に関する株主提案と経営者による利益調整 | 岩田 聖 徳 | 第8号 | 72頁 |
| グローバルサプライチェーンを介した業績伝播効果 | 土屋 志 聞 | 第9号 | 65頁 |
| 日本の上場企業の生産性と株価 | 岩 壺 健太郎、広木 隆 | 第9号 | 78頁 |
| 日本銀行のJ-REIT買入政策が投資口価格へ与える影響 | 高田 裕 | 第10号 | 72頁 |
| プライベートエクイティファンドの価値創造機能に関する実証分析 | 飯岡 靖 武 | 第10号 | 83頁 |

＊＊研究ノート＊＊

| | | | |
|---|---------------|------|-----|
| 退職給付制度における積立不足の発生要因と企業価値の分析 —内部積立と数理計算上差異— | 吉田 和 生 | 第2号 | 79頁 |
| B2B市場における企業ブランドとROAの関連性 | 真鍋 友 則、中川 慧 | 第6号 | 73頁 |
| わが国の経営者報酬制度高度化に向けた投資家からの提言 | 領家 広 晴 | 第7号 | 83頁 |
| 日本のETFの流動性の実証分析 —マーケットメイク制度導入の影響— | 芹田 敏 夫、花枝 英 樹 | 第11号 | 80頁 |
| 国債決済期間短縮化とイントラデー・レポレート | 宇野 淳、戸辺 玲 子 | 第12号 | 86頁 |

＊＊証券アナリスト読書室＊＊

| | | | | |
|------------------------------------|-------|--------|-----|------|
| 「平成の経済」 | 小峰隆夫著 | 沼波 正 | 第1号 | 104頁 |
| 「戦前・戦時期の金融市場—1940年代化する国債・株式マーケット—」 | 平山賢一著 | 河田 剛 | 第1号 | 106頁 |
| 「企業評価論入門」 | 奈良沙織著 | 北川 哲 雄 | 第1号 | 108頁 |

| | | | |
|---|------------------|---------|----------|
| 「新興国市場のファイナンス分析」 | 永野護著 | 坂 卷 敏 史 | 第2号 90頁 |
| 「サステナブルファイナンスの時代—ESG／SDGsと債券市場—」 水口剛編著 野村資本市場研究所「ESG債市場の持続的発展に関する研究会」著 | | 加 藤 康 之 | 第2号 92頁 |
| 「データ資本主義—ビッグデータがもたらす新しい経済—」 ビクター・マイヤー＝ショーンベルガー／トーマス・ランジ著 斎藤栄一郎訳 | | 白 須 洋 子 | 第2号 94頁 |
| 「新クレジット・デリバティブのすべて」 土屋剛俊／大橋英敏／糸田真吾／谷栄一郎著 | | 河 合 祐 子 | 第3号 83頁 |
| 「会社を伸ばす株主還元」 | 石川博行著 | 河 田 剛 | 第3号 85頁 |
| 「マネーの魔術史—支配者はなぜ「金融緩和」に魅せられるのか—」 | 野口悠紀雄著 | 沼 波 正 | 第3号 87頁 |
| 「フィデューシャリー・デューティーと利益相反」 | 神作裕之編 | 野 村 亜紀子 | 第4号 69頁 |
| 「変貌するコーポレート・ガバナンス—企業行動のグローバル化、中国、ESG—」 花崎正晴編著 | | 白 須 洋 子 | 第4号 71頁 |
| 「アマゾン銀行が誕生する日—2025年の次世代金融シナリオ—」 | 田中道昭著 | 沼 波 正 | 第4号 73頁 |
| 「グローバル化と基軸通貨—ドルへの挑戦—」 | 小川英治編 | 大 庭 昭 彦 | 第5号 88頁 |
| 「人工知能と経済」 | 山本勲編著 | 菅 原 周 一 | 第5号 90頁 |
| 「経済学はどのように世界を歪めたのか—経済ポピュリズムの時代—」 森田長太郎著 | | 徳 島 勝 幸 | 第5号 92頁 |
| 「エッセンシャル金融ジェロントロジー—高齢者の暮らし・健康・資産を考える—」 駒村康平編 | | 玉 木 伸 介 | 第6号 84頁 |
| 「NISA（少額投資非課税制度）概論」 | 日本証券業協会著 | 内 田 稔 | 第6号 86頁 |
| 「インフラ投資—PPP／PFI／コンセッションの制度と契約・実務—」 佐藤正謙／岡谷茂樹／村上祐亮／福島隆則編著 | | 河 西 洋 文 | 第6号 88頁 |
| 「ファイナンス機械学習 —金融市場分析を変える機械学習アルゴリズムの理論と実践—」 マルコス・ロベス・デ・ブラド著 長尾慎太郎／鹿子木亨紀監訳 大和アセットマネジメント訳 | | 吉 野 貴 晶 | 第7号 92頁 |
| 「フィンテックの経済学—先端金融技術の理論と実践—」 嘉治佐保子／中妻照雄／福原正大編 | | 菅 原 周 一 | 第7号 94頁 |
| 「T・ロウ・プライス—人、会社、投資哲学—」 コーネリウス・C・ボンド著 長岡半太郎監修 井田京子訳 | | 河 田 剛 | 第7号 96頁 |
| 「日本経済のマクロ分析—低成長経済のバズルを解く—」 鶴光太郎／前田佐恵子／村田啓子著 | | 大 庭 昭 彦 | 第8号 92頁 |
| 「企業価値とオプション評価のロジックと実務 —基礎的手法・数理・法務のすべて—」 | 神田秀樹／太田洋子／阿久澤利直著 | 大 本 隆 | 第8号 94頁 |
| 「患者目線の医療改革」 | 渡辺英克著 | 河 田 剛 | 第8号 96頁 |
| 「CFOポリシー—財務・非財務戦略による価値創造—」 | 柳良平著 | 光 定 洋 介 | 第9号 88頁 |
| 「ボルカー回顧録—健全な金融、良き政府を求めて—」 ポール・A・ボルカー／クリスティン・ハーバー著 村井浩紀訳 | | 沼 波 正 | 第9号 90頁 |
| 「テクノロジー・バブル—なぜ「熱狂」が生まれるのか（生まれえないのか）？—」 ブレント・ゴールドファーブ／デヴィッド・カーシュ著 渡部典子訳 | | 河 田 剛 | 第9号 92頁 |
| 「本気で取り組むガバナンス・開示改革—経営者とアナリストによる価値共創—」 水口啓子著 | | 熊 谷 五 郎 | 第10号 93頁 |
| 「取締役会評価のすべて—取締役会の実効性を高めるための実務と課題—」 高山与志子著 | | 北 川 哲 雄 | 第10号 95頁 |
| 「米国はいかに国民の退職後を支援しているか —“DC年金は高所得者優遇”という社会的忖念への挑戦—」 ビクター J. ブレイディ著 一般社団法人投資信託協会／Investment Company Institute訳 | | 野 村 亜紀子 | 第10号 97頁 |
| 「企業価値向上のための資本コスト経営 —投資家との建設的対話のケーススタディ—」 公益社団法人日本証券アナリスト協会編 | | 川 北 英 隆 | 第11号 91頁 |

| | | | |
|---|--|---------|----------|
| 「スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM (プログレッシブ キャピタリズム)」 | ジョセフ・E・スティグリッツ著 山田美明訳 | 光 定 洋 介 | 第11号 93頁 |
| 「金融システム批判・序説 —脅かされる市民投資家の年金とオーナーシップの復活—」 | ステファン・デビス/ジョン・ルコムニク/デイビッド・ピットワトソン著 奥野一成/杉山修司/花岡博訳 | 坂 卷 敏 史 | 第11号 95頁 |
| 「国家・企業・通貨—グローバル化の不都合な未来—」 | 岩村充著 | 沼 波 正 | 第11号 97頁 |
| 「プライベート・エクイティ投資の実践 —オープン・イノベーションが企業を変える—」 | 幸田博人編著 | 河 西 洋 文 | 第12号 98頁 |
| 「ガバナンス構造の変化と内部監査」 | 日本監査研究学会 内部監査研究プロジェクト編 蟹江章編著 | 町 田 祥 弘 | 第12号100頁 |
| 「Principles of Sustainable Finance」 | Dirk Schoenmaker and Willem Schramade著 | 北 川 哲 雄 | 第12号102頁 |

新 刊 紹 介

| | |
|---------|-----------|
| 新 刊 紹 介 | 第 1 号110頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 2 号 96頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 3 号 89頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 4 号 75頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 5 号 94頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 6 号 90頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 7 号 98頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 8 号 98頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第 9 号 94頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第10号 99頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第11号 99頁 |
| 新 刊 紹 介 | 第12号104頁 |

2019年度証券アナリストジャーナル賞

| | |
|---------------------|-----------|
| 2019年度証券アナリストジャーナル賞 | 第 6 号 91頁 |
|---------------------|-----------|

協 会 だ よ り

| | |
|------------------------------|-----------|
| 新芝会長メッセージ | |
| 新芝会長から会員の皆さまに向けてメッセージが出されました | 第 6 号 97頁 |

お知らせ

| | |
|---|-----------|
| 2020年主要行事予定 | 第 1 号111頁 |
| 新型コロナウイルス感染症への対応について | 第 4 号 76頁 |
| 第79回運営委員会を開催しました | 第 4 号 76頁 |
| 第506回理事会を開催しました | 第 5 号 95頁 |
| 新型コロナウイルス感染症への対応について | 第 5 号 95頁 |
| 2020年度証券アナリスト第1次レベル講座を職場やお知り合いの方にお勧めください | 第 5 号 96頁 |
| 新型コロナウイルス感染症への対応について | 第 6 号 98頁 |
| 2020年証券アナリスト第1次春試験の中止について（3月31日公表） | 第 6 号 98頁 |
| 2020年証券アナリスト第2次試験の延期について（4月8日公表） | 第 6 号 99頁 |
| 新型コロナウイルス感染症に関するセミナー・講演会等の対応について（5月26日公表） | 第 7 号 99頁 |
| 第507回理事会を開催しました | 第 7 号 99頁 |

| | |
|---|----------|
| 第48回定時総会を開催しました | 第8号 99頁 |
| 代議員の改選を行います | 第8号 99頁 |
| 新代議員の決定について | 第10号104頁 |
| 会員の資格喪失についての公示 | 第11号100頁 |
| 第508回理事会を開催しました | 第12号105頁 |
| 2021年3月のCIIA（国際公認投資アナリスト）試験の申し込みを受け付けています | 第12号105頁 |

研究会活動状況

| | |
|--|----------|
| 2020年度のディスクロージャー優良企業等を決定しました（ディスクロージャー研究会） | 第11号100頁 |
|--|----------|

トピックス

| | |
|---|---------|
| 11月18日（月）に、シンポジウム「重要性高まる企業IR」を開催しました | 第1号111頁 |
| GIPSセミナー「2020年版グローバル投資パフォーマンス基準（GIPS）—確定版のポイントと内容—」を開催しました | 第1号113頁 |
| マイナビニュースサイトに、タイアップページ【連続ミニドラマ「ザ・プライベートバンカー」に見る、顧客の信頼を勝ち得る方法6か条】の掲載を開始しました | 第1号113頁 |
| 「地区交流会」の活動状況について | 第1号113頁 |
| 「名古屋シンポジウム」を開催しました | 第1号114頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第1号114頁 |
| 大会の要旨、動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第1号115頁 |
| ACIIA（国際公認投資アナリスト協会）理事会・臨時総会が開催されました | 第2号 97頁 |
| ASBJ「収益認識に関する会計基準（案）」等について意見書を提出しました | 第2号 97頁 |
| 「地区交流会」の活動状況について | 第2号 98頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第2号 98頁 |
| 第26回SAAJセミナーを開催しました（1月22日） | 第3号 90頁 |
| 「大阪シンポジウム」を開催しました | 第3号 91頁 |
| プライベートバンカー（PB）資格認定者について（2019年12月末） | 第3号 91頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第3号 91頁 |
| ディスクロージャー優良企業選定要領を決定しました | 第4号 77頁 |
| CIIA（国際公認投資アナリスト）2020年3月試験を実施しました | 第4号 78頁 |
| IASBのワーガーホースト議長が当協会へ来訪されました | 第4号 78頁 |
| シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2019年秋）の結果について | 第4号 78頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第4号 79頁 |
| 第11回SAAJ国際セミナー「投資信託による資産運用拡大に向けて担う役割—アドバイス、運用、販売—」をテーマに誌上座談会が開催されます | 第5号 96頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第5号 97頁 |
| 第26回SAAJセミナー要旨・動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第5号 97頁 |
| プライベートバンカー（PB）資格認定者について（2020年3月末） | 第6号 99頁 |
| 有料動画の一部を無料で配信しています | 第6号 99頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第6号100頁 |
| 講演会資料を協会ウェブサイトに掲載しました | 第6号100頁 |
| 金融庁「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令（案）」等について意見書を提出しました | 第6号100頁 |
| 2020年3月のCIIA（国際公認投資アナリスト）試験結果を公表しました | 第7号100頁 |
| 有料動画の一部を無料で配信しています | 第7号100頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第7号100頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第7号101頁 |

| | |
|---------------------------------------|----------|
| ACIA理事会・年次総会が開催されました | 第8号100頁 |
| 第20回夏期SAAJセミナーを開催（7月3日） | 第8号101頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第8号101頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第8号101頁 |
| 2020年証券アナリスト第2次試験（12月試験）の試験日程等を公表しました | 第9号 95頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第9号 95頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第9号 96頁 |
| シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2020年春）の結果について | 第10号104頁 |
| 「地区交流会」の活動状況について | 第10号105頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第10号105頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第10号106頁 |
| 2020年証券アナリスト第1次秋試験を実施しました | 第11号101頁 |
| 第21回SAAJ - 日本ファイナンス学会共同セミナーを開催（9月17日） | 第11号102頁 |
| IASB公開草案「全般的な表示及び開示」について意見書を提出しました | 第11号102頁 |
| 「地区交流会」の活動状況 | 第11号103頁 |
| セミナーの動画・講演要旨をウェブサイトに掲載しました | 第11号103頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第11号104頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第11号104頁 |
| 2020年証券アナリスト第1次秋試験の結果を公表しました | 第12号106頁 |
| 講演会動画を協会ウェブサイトに掲載しました | 第12号106頁 |
| 講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました | 第12号107頁 |

理事・顧問・委員・会員の異動

| | |
|--------|----------|
| 会員の異動 | 第1号116頁 |
| 委員の異動等 | 第2号100頁 |
| 会員の異動 | 第2号101頁 |
| 委員の異動 | 第3号 92頁 |
| 会員の異動 | 第3号 92頁 |
| 委員の異動 | 第4号 80頁 |
| 会員の異動 | 第4号 81頁 |
| 理事の異動 | 第5号 98頁 |
| 委員の異動 | 第5号 98頁 |
| 会員の異動 | 第5号 99頁 |
| 顧問の異動 | 第6号100頁 |
| 会員の異動 | 第6号101頁 |
| 顧問の異動 | 第7号101頁 |
| 委員の異動 | 第7号101頁 |
| 会員の異動 | 第7号102頁 |
| 顧問の異動 | 第8号102頁 |
| 会員の異動 | 第8号103頁 |
| 顧問の異動 | 第9号 97頁 |
| 委員の異動 | 第9号 97頁 |
| 会員の異動 | 第9号 98頁 |
| 委員の異動 | 第10号106頁 |
| 会員の異動 | 第10号107頁 |
| 委員の異動 | 第11号105頁 |

会員の異動
委員の異動
会員の異動

第11号110頁
第12号108頁
第12号110頁